

～総合患者支援センターよりお知らせ～

不安な気持ちをピアサポーターに話してみませんか？
『ピアサポート（相談）』はじめました！
 がん体験患者による乳がん・婦人科系がん

日時：毎月 第1木曜日 14時～16時
 2月6日（木）、3月6日（木）
 相談無料・予約制 ※電話相談は行いません。
 場所：気仙沼市立病院 1階 がんサロン室
 対象：乳がん・婦人科系がん患者さんやご家族
 ※個人情報・相談内容に関する秘密は厳守します。
 申込・問合せ先：気仙沼市立病院 総合患者支援センター
 TEL：0226-22-7100 内線5229・5243

がん患者会ひなみ（Hinami）より

『絵手紙教室』を開催します！

日時：令和7年2月14日（金）14時～16時
 場所：気仙沼市立病院 1階 会議室3
 対象：乳がん・婦人科系がん治療中または治療後の患者さん
 内容：絵手紙の制作 ※参加料無料
 講師：大阪 裕子先生
 申込先：気仙沼市立病院 総合患者支援センター
 TEL 0226-22-7100 内線5229へ
2月13日（木）までにお申し込みください！ ※写真は大阪先生の作品です

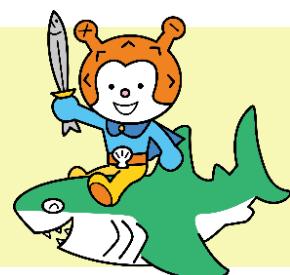


～気仙沼市立病院附属看護専門学校よりお知らせ～

令和7年度 学生募集中！

- 入学試験日（B日程） 令和7年3月17日（月）
- 合格発表日時 令和7年3月26日（水）正午
- 試験会場 気仙沼市立病院附属看護専門学校
- 願書受付 令和7年2月17日（月）～3月7日（金）17時必着

※詳しくは、気仙沼市立病院ホームページより看護専門学校の入試情報（募集要項）を御覧ください。



- ◆ 気仙沼市立病院
〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8番地2
TEL：0226-22-7100（病院代表）
- ◆ 総合患者支援センター
TEL：0226-22-7178（前方支援部門） / FAX：0226-24-2328
0226-22-8661（入退院支援部門）

総合患者支援センターだより



第38号
 令和7年1月発行
 気仙沼市立病院

新年の御挨拶

TAKE FREE
ご自由にお持ちください



気仙沼市立病院 副院長
 総合患者支援センター
 所長 星 達也



新年あけましておめでとうございます。
 各医療機関・施設の皆様におかれましては、気仙沼市立病院総合患者支援センターの活動に御理解いただき、また当地域の医療に御尽力してくださっていることに心から感謝申し上げます。
 さて、2024年、当院では気仙沼市立本吉病院との医療再編により地域包括ケア病棟を4月よりスタートさせました。これに伴い本吉病院（現在は気仙沼市立病院附属本吉医院）の医師は当院の総合診療科にも所属することとなり、急性期医療と在宅の狭間をシームレスにつないで患者さんのよりよい生活につなげることができるものと期待しております。
 年末からCOVID-19感染者の増加、およびインフルエンザが近年まれに見る猛威を振るっていることから、新年早々厳しい医療事情となっておりますが、引き続き気仙沼地区の医療を維持し、さらに一層良いものにすべく努力して参りますので、今まで以上の連携体制構築に向けて本年も御協力をお願い申し上げます。

おねがい

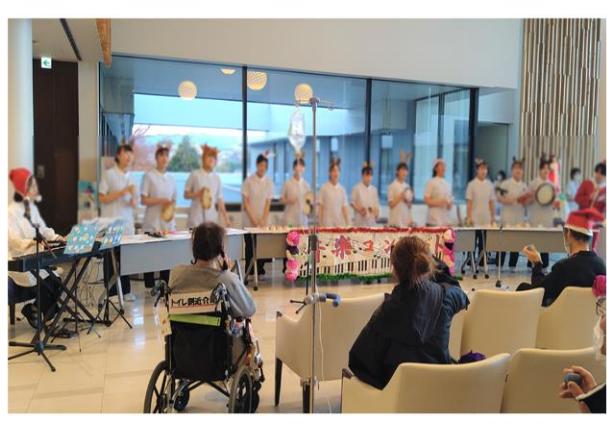
- 患者様の待ち時間短縮のため、かかりつけの先生からのFAXによる事前予約を推奨しています。
- 新患の受付は、**午前8時30分から10時まで**となっております。
 診療科によっては新患のない曜日や必ず予約が必要な場合もございますので、外来診療予定表や電話等で事前に御確認ください。
- 事前予約がないと診察までに時間がかかることもございます。緊急手術などで突然休診となることもございます。御不便をおかけしますが、何卒御了承いただけますようお願い申し上げます。

気仙沼市立病院 理念・基本方針

- 1 理念
 患者さん第一の医療を行います
- 2 基本方針
 - (1) 患者さんの権利を守り、信頼される医療を目指します
 - (2) 新しい医療を取り入れ、安全・安心で質の高い医療を提供します
 - (3) 地域包括ケアシステムの構築を推進し、市民の皆様とともに地域医療を守っていきます
 - (4) 健全な病院運営に努めます

看護学生による

～音楽コンサート～



12月4日(水)15時30分より、当院1階エントランスホールにて、気仙沼市立病院附属看護専門学校の1年生による音楽コンサートが開催されました。ハンドベルやダンスを交えたコーラスに、患者さん方もベルや手拍子で参加して会場は盛り上がり看護学生さんから元気をいただきました。



◆院内講演会◆

日時：令和6年12月5日(木)17:30～18:30

題名：聞こえを良くして楽しい生活を

～難聴の気づきと補聴器の適切な使い方～

演者：東北大学病院 耳鼻咽喉・統計部外科分野 教授 香取幸夫

当院会議室において、香取教授をお迎えし、講演会が開催されました。院長ほか約60名が参加し、聞こえのしくみ、知らないうちに進む難聴、難聴と認知症、補聴器や人工内耳などについて御高話いただきました。

知らずに難聴になっている方が多い、早めに補聴器を使用し脳をならすことが大切とのことでした。



地域医療交流会を開催しました！



気仙沼市立病院地域医療交流会

- 日時 令和6年11月27日(水)18:30
- 場所 ゲストハウス気仙沼アーバン
- 参加者 41団体 102名(院内39名含む)

地域の医療・介護・福祉の関係機関との連携推進を目的として、開業医の先生方をはじめ介護福祉施設等の関係者の皆様に御参加いただきました。

第1部では、総合患者支援センターの活動報告や、当院齊藤副院長より地域包括ケア病棟に関する講話、また皮膚・排泄ケア認定看護師の小野寺氏による褥瘡対策に関する講話を行いました。小野寺氏の講話は、11月20日に院内医療従事者や地域の福祉関係者の皆様が参加した研修会においても同内容をテーマとして講話や意見交換をしており、それを踏まえ更に内容が深まった講話となりました。

第2部の懇親会では、職種の垣根を超えた活発な意見交換や情報共有をすることができ、今後の地域包括ケアシステムの推進及び医療連携に向けた貴重な時間を過ごすことができました。

御参加いただいた皆様におかれましては、厚く御礼申し上げます。今後もより密で迅速な医療連携ができるよう、一層努めて参ります。

第1部の様子



第2部の様子

